

企画名	海のごちそうウィークキャンペーンinトタバローネプロジェクト
発信媒体	Instagram、Facebook、Twitter、シロエビ倶楽部Webサイトでの発信、ゴゴスマでの情報拡散
実施内容	“海のごちそうを食べる”ということを通じて、海のことを知って考える1週間(10月10日～10月16日)である「海のごちそうウィーク」と連携し、対象魚種を食べて海の問題について考える投稿するキャンペーンを10月10日～10月31日で実施した。本文ではご当地のごちそうである「シロエビ」について紹介するとともに、地域の海の問題を絡めることで、海洋問題に関する意識啓発およびウィークの盛り上げに寄与した。
WEB ハイライト	投稿(応募)数: Instagram43件、SNS合計いいね数: 140、タグ付・シェア数: 13、 海のごちそうウィークトタバローネ公式ページPV数: 485 #海のごちそうウィークでの投稿291件(10月30日 15:00時点)

SNSTピック

ゴミ拾いをずっと続けていくと断言



魚が元気に育つために、自分にできること=ゴミ拾いを続けていくことをSNSを通して断言。

海の問題と向き合い、漁師にも提言



乱獲について考え、その問題を漁師にも提言、命をいただいている事への感謝の気持ちを再確認。

魚が減っている事を初めて知った



日本海近海で魚がどんどん減っている事実を知り、自分で調べ、未来の子供たちにも魚が食べられるように願う。

シロエビを守るためにも自分に出来る事を



乱獲によりシロエビが減ってしまったが、人の手により復活したことを伝え、自分たちで出来る事を考えてもらう。

地元の魚「シロエビ」を知ろう！



水揚げされた瞬間のシロエビは透明。シロエビの事をもっと知ってもらうために、地元漁師のWebサイトを紹介。

シロエビを食べて応援しよう



コロナの影響で価格が下がっているシロエビ、漁師や店舗を盛り上げるべく、飲食店の情報を発信。

